

## 17 まゆの道通り (まゆのみちどおり)



河輪町

河輪小学校から東へ、天坊堤通りの一本西の通りである。

昔、この通り沿いに、養蚕農家が8軒あり、その当時から「まゆの道通り」と呼ばれていたといわれている。



## 18 芋瀬通り (いもせどおり)



河輪町

町内の字芋瀬を南北に縦断するので、この名が付けられた。昔、この辺りは天竜川の川瀬で、そこでサトイモを栽培したため、芋瀬と呼ばれたといわれる。



## 19 中道通り (なかみちどおり)



河輪町

河輪町下公民館前の通りである。河輪町は、かつての芋瀬村と中新田から成り立っている。この道は、2つの集落の境界路となっていたので、「中道」と呼ばれたといわれる。



## 20 元天山通り (がんでんやまどおり)



河輪町

町の南部を東西に走る道路である。30年ほど前まで、この辺りには、元天山と呼ばれている小高い丘があり、夜、通るのが怖いほど寂しい場所だったそうである。



## 21 茅野街道 (かやのかいどう)



三新町

茅野を通る、地域の主要道である。茅野は、付近にカヤが茂っていたので、このように呼ばれた。江戸末期に向・辰・茅野の三新田が集まったのが、三新町のはじまりである。



## 22 三新川口 (さんしんかわぐち)



三新町

この地は町の南端で、土地改良事業により水田の広がる農村地帯となっている。天竜川河口に接した土地なので、三新川口と名付けられた。



## 23 水神様坂 (すいじんさまざか)



三新町

町の東南、天竜川堤防上にある水神社へ通じる坂である。水神社は水難防止の神様として広く信仰を集め、今も多くの参拝者が訪れる。



## 24 川口通り (かわぐちどおり)



三新町

町の北から三新川口を結ぶ通りなので、このように名付けられた。以前の堤防跡で、昭和38年に土地改良事業が行われた際に、道路として整備された。



## 25 公民館通り (こうみんかんどおり)



三新町

三新町公民館の前を通るので、このように名付けられた。

公民館は昭和53年3月に新築され、地域のコミュニティの場として、住民に広く利用されている。



## 26 向新田通り (むこうしんでんどおり)



三新町

町の北方、向新田を東西に走る通りである。向新田とは、江戸時代、掛塚から西を見て、向かいに新田集落があったため、このように名付けられた。



## 27 辰新田通り (たつしんでんどおり)



三新町

町の東方、辰新田を南北に走る通りである。辰新田は、向新田から見て辰日の方角(南東方向)にあたるため、このように呼ばれた。



## 28 椎河脇神社跡 (しいがわきじんじゃあと) 稲荷大明神跡 (いなりだいみょうじんあと)



三新町

大正末期、天竜川の河川改修で、川底に消えた、古川寄合新田・弥助新田の氏神様を、移し祭った跡地である。



## 29 砂吹上 (すなふきあげ)



長田町

長田町下地域は、砂が吹き上げられて小高い丘ようになっており、「砂吹上」と呼ばれた。洪水に強く、昭和20年の天竜川堤防決壊のときにも、浸水の被害はなかった。



## 30 庄屋前通り (しょうやまえどおり)



長田町

この地の庄屋だった大塚家前の通りである。江戸時代、この地は幕府の直轄地だった。大塚家は、代官のもとで年貢の上納などに当たっていた。



## 31 長十郎新田通り (ちようじゅうろうしんでんどおり)



長田町

町の中央を横断する通りである。長田町は長十郎新田と権右衛門新田から成る。長十郎新田は慶長年間(1596~1615年)大塚長十郎が開墾したのが始まりといわれている。



## 32 権右衛門新田屋敷跡 (ごえもんしんでんやしきあと)



長田町

江戸時代初期に、この地を開拓した権右衛門様の屋敷跡である。この辺りの新田開発と天竜川船渡しの役を務めた権右衛門様にちなんで、このように名付けられた。

